



文：小川 康成  
ファイナンシャル・プランナー

## 「保険の値上げ・値下げ」

年末から今年に入り、野菜の高騰が続いております。他にもガソリンなどお財布には優しくない話も多いですが、人件費の高騰も続いており、デフレ脱出なのか？と淡い期待も抱きたくなります。

久しぶり（笑）に少し保険のお話です。

1月から春にかけて、値上げする商品・値下げする商品の傾向が出てきましたのでお伝えしたいと思います。

### 値上げ ↑

#### ★『医療保険』など、入院を保障する商品

要因：平均寿命の伸びにより、入院する機会が増える事が想定されている為。

\*但し、各社の会社方針も入る為、料金を据え置く可能性の会社もあるとの事。  
（長期的には値上げ傾向）

ご参考：同族経営の会社様では、代表者の医療保険を法人さま名義で契約、保険料を経費上損金で支払い、退職時には代表者の個人へ数万円で名義変更手続きし、個人の医療保険とするなど、生命保険を上手に活用し、個人へ医療保険を譲渡する事ができます。

### 値下げ ↓

#### ★生命保険で死亡を保障する商品

要因：平均寿命の伸びによって死亡する年齢が高くなったことにより、支払いが先延ばしされ、お預かりしている保険料を運用する期間が長くなる為。

ご参考：法人税率は、諸外国との均衡をとる為に今後徐々に下がって来ると言われており、現在納税するより生命保険で繰り延べをする事で、数十年先の受取時の税率が下がっている可能性もある為、手法の一つに考えられます。

#### ★『自動車保険』

要因：自動ブレーキなど安全装備の普及に伴い事故が減少傾向の為。

\*1月より2～3%値下げする会社が出てきました。

さらに発売時期の新しい特定の車種には、「ASV（衝突被害軽減ブレーキ等付属自動車）割引」▲9%が適用されます。但し、発売時期により最長3年程度なので、新車購入時のご参考にして頂ければと思います。

\*自動車保険については、業界として14年ぶりとも言われる位、久しぶりの保険料ベースの値下げです。

今後、自動運転が実用化されてくれば、さらに値下げも確実です。その分、（暫くは）車両購入代金は高くなると予想されるので、トータルコストは同じかもしれませんが…

さらに先に EV（電気自動車）化が進んで、エンジン（内燃機）に係る部品がなくなれば、逆に値段は下がるのでしょうか？ エンジンに変わりモーターが主力になる事により参入障壁が下がれば価格は下落傾向になると予想されますので、EV（電気自動車）化の普及の先には自動車の家電化・低価格化もあり得るのかもしれませんが。

その時には、自動車に支えられている愛知県の産業構造は変わらざるを得ないのかもしれないですね？どうなるのでしょうか。

少し話題からそれますが…

## 【自動車に関する数字 あれこれ】

自動車の町、愛知県は確かに保有台数ではナンバー1ですが、調べてみると色々面白いので以下にご案内致します。

人口		
1位	東京都	1,353万人
2位	神奈川県	916万人
<b>4位</b>	<b>愛知県</b>	<b>753万人</b>
1人当たりの台数		
1位	群馬県	0.897台
2位	山梨県	0.894台
<b>36位</b>	<b>愛知県</b>	<b>0.692台</b>

保有台数		
<b>1位</b>	<b>愛知県</b>	<b>521万台</b>
2位	東京都	442万台
3位	埼玉県	409万台
1世帯当たりの台数		
1位	福井県	2.290台
2位	山形県	2.270台
<b>33位</b>	<b>愛知県</b>	<b>1.621台</b>

意外と「一人当たりの台数」や「1世帯当たりの台数」では、高くないデータがあります。

ところで、乗用自動車の平均使用年数は、自動車の性能向上や「失われた20年」の景気低迷期でかなり伸びており、バブル期 9.28年 → 平成29年 12.91年と20年くらいで+3.63年程伸びました。

そういえば、自動車重量税も13年目から割増しですね。

保険関連の値上げ・値下げについてご案内致しましたが、その中で、一番上がって欲しいのは売上や利益、お給料かも知れません。（笑）

2018年、成年は景気が良いと言うみたいですが、果たしてどうなるのでしょうか。